

## コウノトリを育む鴻巣市に 野生のコウノトリが飛来



7月2・6日、川里地域の水田に野生のコウノトリ3羽が飛来しました。  
国の特別天然記念物であるコウノトリには足環が装着されており、個体情報が管理されています。その足環から、今回飛来したコウノトリは、徳島県生まれのオスと、栃木県生まれのオスとメスのきょうだいであることがわかりました。  
市では「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里 こうのす」を目指し、たくさんの生きものが生息することができる自然環境作りに取り組んでいますが、このように野生のコウノトリが飛来したことは大きな一歩です。  
野生のコウノトリを見かけたら、大きな音をたてず、遠くから静かに見守りましょう。



## 真夏の暑さを超える祭りの熱さ 鴻巣・吹上夏まつり

7月9日に鴻巣夏まつり、7月16日に吹上夏まつりが4年ぶりに開催されました。

鴻巣夏まつりでは、12基の勇壮なみこしが歩行者天国となった中山道を練り歩き、吹上夏まつりでは、上組・下組のお囃子がにぎやかに響きました。

久しぶりの開催となり、会場は多くの皆さんの熱気と笑顔であふれ、鴻巣の夏の風物詩を満喫しました。





## ～人・地域・歴史をつなぐ高崎線～ 高崎線・鴻巣駅開業140周年 記念イベントを開催

7月28～30日、高崎線・鴻巣駅の開業140周年を記念したイベントが、鴻巣駅で開催されました。高崎線は、1883年（明治16年）7月28日に上尾駅・鴻巣駅・熊谷駅の3駅が開業し、上野駅～熊谷駅が開通しました。

これからも高崎線は、人と地域、そして未来をつなぐ交通の要として歩み続けます。

▲7月28日、上野駅・高崎線開業140周年記念号を見送る  
鴻巣駅長（左）・並木市長（中）・ひなちゃん（右）

### [鴻巣駅の移り変わり]



▲昭和20年代



▲昭和50年代



▲現在

## どんな生き物がいるのかな？水辺の生きもの観察会

7月29日、コウノトリ野生復帰センター「天空の里」周辺の水田で開催した「水辺の生きもの観察会」に子どもたちが参加しました。夏の水田には多くの生き物が生息しています。

参加者は、実際に虫取り網で捕まえた生き物を図鑑で調べたり、コウノトリと水辺の生き物の繋がりを天空の里の飼育スタッフから学んだり、自然体験・環境学習に楽しく取り組んでいました。



## 100歳！ ますますお元気で



大正12年7月生まれで、100歳を迎えられた中島清子さんをお祝いました。これからもどうぞお元気で！

## 令和4年度優良工事 2業者と4人を表彰

7月7日、市が発注した工事を優秀な成績で完成させた皆さんを表彰しました。

〔受賞の皆さん〕

※順不同

【優良工事業業者表彰】

(株)タナベ建設、(株)日建

【優良工事現場代理人表彰】

及川 晃さん、堀田良太さん、倉下 蓮さん、安達信一さん

